

様式9

論文審査結果の要旨

| | | | |
|------|---------------------------------|-----|--------------|
| 報告番号 | 甲創 第 45 号 | 氏名 | Yang XueRong |
| 審査委員 | 主査 山田 健一 副査 田中 直伸 副査 大井 高 | (印) | (印) |
| | | (印) | (印) |

学位論文題目

Chemical Studies on Medicinal Plants of Guangxi Zhuang Autonomous Region, China
(中国広西壮族自治区の薬用植物に関する化学的研究)

審査結果の要旨

本論文は、民族伝統薬物由来の医薬リード化合物探索研究の一環として、中国広西壮族自治区で伝統的に使用される薬用植物を素材とした新規天然物の探索、ならびに化学構造の解明を行ったものである。広西壮族自治区は石灰岩(ライムストーン)に富む特異な塩基性土壤をもち、亜熱帯から熱帯に属する気候から中国の植物のうち約 1/3 が自生している。本地域において、少数民族が伝統薬物として用いる 5 種の薬用植物 *Munronia pinnata*、*Sarcandra glabra*、*Rhododendron mole*、*Phyllanthus urinaria*、および *Macrosolen cochinchinensis* に注目し、それらの含有成分の探索研究を行った結果、12 種の新規天然物の単離に成功している。これらの化学構造を、各種スペクトルデータの解析と量子力学計算により絶対配置を含めて明らかにしている。

これらのうち、*Sarcandra glabra* より単離した新規 C₂₅ テルペノイド sarcaglabrin A は、特異な五環性骨格を有していた。一般的な C₂₅ セスタテルペンとは異なり、本化合物は C₁₅ セスキテルペンと C₁₀ モノテルペンの conjugate であると推定している。一方、*Munronia pinnata* より単離した munropin A および B は、天然物として珍しい含窒素リモノイドである。これらの化合物の絶対立体配置を、科学的手法により明らかにした。

本論文の内容は、新規なものを含んでおり、かつ薬学的に重要である。以上の観点より本論文は博士論文として適当であると判断する。